

# 食の未来づくり運動

私の宣言

東都生協を続けること。  
(杉並区 伊藤昭二)

毎日の食事をきちんと作ること。  
食の文化を家族に残す。  
(杉並区 立川のタマ)

- 1 食料自給率の向上
  - 2 日本の農業を元気に
  - 3 持続可能な社会に向けて
- 1人が5人に地域で「食の未来づくり運動」を伝え、その輪を広げよう

## オンラインde北海道の海の幸 おいしさを知ろう！ 枝幸漁協女性部と交流会しましょう！（2月12日）



枝幸漁協・女性部のみなさん

毎回人気の交流企画。今回も東都生協の組合員56組136人が参加。北海道の産直産地・枝幸漁業協同組合(枝幸漁協)・女性部をはじめ職員の方々、北海道漁業協同組合(北海道ぎょれん)の方々からたくさんのお話を聞き、組合員からの事前質問と、当日のクイズと合わせて楽しく学びました。

漁や漁港など枝幸の様子が映し出され、中には「枝幸漁港ってこんな北だったの!？」と驚く参加者も…。オホーツクのクリオネに夢中の子どもたちの姿が印象的で、あつという間の1時間半でした。



漁に出ない時の船を陸に上げている様子をライブ配信

【学習内容】

《鮭》代表的な鮭は8種類。白鮭は、秋にアラスカから日本に戻ることから「秋鮭」、春から夏に取れる鮭を「時鮭」「時不知」と呼ぶことなどを学びました。  
《ホタテ》貝ひもと呼んでいる部分の黒い点が「目」の役割をしていることなどを学びました。

主な事前質問と答え

鮭は何個の卵を産むの？  
鮭の卵は「3000~4000個」

子どもが好む魚料理は？

子どもが喜ぶ魚料理は「甘辛い味付けやみそ味、チーズを足してグラタン風にしてもおいしい」というお答えでした。

鮭の漁獲高は？

漁獲高は「以前は20万トン、最近は5万トン以下」

当日の主なクイズ (カッコ内は答え)

おとなの鮭の天敵は？ (トド)

ホタテの天敵は？ (ヒトデ)

《植樹活動》

枝幸漁協では1988年から植樹活動を始め、2007年に東都生協、枝幸漁協、北海道ぎょれんの3組織で「枝幸魚つきの森植樹協議会」を発足、植樹活動や料理教室、植樹ツアーを実施（今はコロナ禍により休止中）。

《枝幸漁協・女性部の調理動画》

枝幸産ほたて貝柱水煮缶を使ったほたて炊き込みご飯の作り方を紹介。

《海鮮丼を作ろう》

北海道枝幸産ほたて貝柱と北海道枝幸産いくら醤油漬を自宅で用意したご飯にのせ、それぞれの家庭で海鮮丼を作成。みんなで「いただきます!」をしました。



## みんなで聴こう被爆者の声、ともに創ろう「核なき世界」 核兵器も戦争もない世界を願って

— 組合員活動委員会主催 オンライン開催 — (2月19日)

平和募金企画

東都生協の平和活動の一環として、今回は日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)・事務局次長の濱住治郎氏(※)のお話をオンラインで伺いました。昨年1月22日に核兵器禁止条約が発効されて1年。平和のために私たちに何ができるかを考える機会となりました。

### 私は一番若い被爆者です

人類史上初の原爆が広島に投下された時、母親の胎内にいました。私が、父親が亡くなった49歳になった時、兄姉に8月6日の行動を書きつづってもらうことをお願いし、胎内から見た原爆、まだ見ぬ父への想いをより確かなものにできました。

### 父の写真を毎日見て育ちました

1945年8月6日の朝、父は会社へ行き、8時15分、原爆投下。街は破壊され、市内に住む親戚家族たちが、爆心地から4キロ離れ倒壊を免れたわが家に避難。しかし、父だけが帰ってきませんでした。翌年2月に生まれた私を含め、子ども7人と母が残されました。



49歳で直爆死した父の遺影

### 自分が一日でも長く生き、父の分まで生きなければと思うようになりました

母は電気集金や田畑仕事をし、兄は高校卒業後、銀行に勤め家族を支えました。結婚して、子どもを持ち、家族の幸せを感じることができました。

### まとめ

濱住さんのお話から、被爆者の平均年齢が83.94歳(2021年3月)と知り、原爆の悲惨さを知る人が少なくなっていることを痛感しました。21世紀の今も、私たちは世界に約13,000発あるといわれる核兵器の恐怖の中にいます。2017年、核兵器禁止条約が国連総会で採択され2021年に発効されましたが、日本政府は署名・批准をしていません。核兵器は胎児であっても、誰であっても被害者にします。未来の子どもたちのためにも、核兵器も戦争もない世界に向けて私たちがすべきことを考えましょう。

※濱住治郎氏/東京都原水爆被害者協議会・常任理事。日本被団協・事務局次長。2018年10月、国連本部に「ヒバクシャ国際署名」を提出する日本被団協代表団として参加。



父の遺骨の代わりに埋葬されているのは、母と姉が遺品として持ち帰った父のバックル、がま口の金具と鍵

今月のつぶやき 地球温暖化が進んでいるせいか、ここ数年、世界各国において想定外の災害が発生しています。自然の力に人間が対抗することはできませんが、私たちに起こる前から対策して被害を小さくする知恵があります。お宅の備えは万全ですか？ 今一度、確認してみてください。今月号の特集が、少しでも皆さんのお役に立てば幸いです。(Y.K.)

お問い合わせ 組織運営部  
☎ 03(5374)4756  
月曜～金曜：午前9時～午後4時  
E-mail: kumikatsu@tohto.coop  
〒156-0055 東京都世田谷区船橋5-28-6 吉崎ビル4階